

香取市は、平成18年3月27日に佐原市、小見川町、山田町及び栗源町が合併して誕生しました。



(執筆者)
香取市水道部水道課
課長 山内 謙二氏
編集 吉夫氏

地域・ユーザーの声

地域を守る 潮止堰 河口堰だより

発行所
独立行政法人水資源機構
利根川下流総合管理所
千葉県河口堰管理課
TEL 0478-86-0477

水道部では、佐原市水道部、小見川広域水道企業団それに栗源町簡易水道と三者三様の企業が香取市水道部に統一され新生香取市の水道事業が新たにスタートしました。

佐原市水道は、昭和29年の通水以来、数度の拡張を経ており、また取水場を両総用水導水路から利根川右岸4.2kmの飯島地先に変更し、浄水場も玉造地区に新設して市域認可区域6,683戸の給水完成を推進第3次拡張事業を推進中、延長240kmの配水管施設で、17年度末では29,400



人に給水をしております。

小見川広域水道企業団の前身の小見川町水道は利根川右岸2.6、8km地点に取水施設を設け、浄水施設は城山に建設し昭和32年に初期の通水をしており、平成17年度末には、33,000人に給水をしており、旧山田町は、昭和32年に小見川からの全国初の上水道受水による簡易水道が始まりました。

旧小見川、旧山田の両町は、昭和54年に水道企業団を組織し、前述の施設の外配送水管延長32.9kmの施設を有し、行政区域のみならず他区域にも生活用水を供給してまいりました。

栗源簡易水道は、2箇所の地下水を水源にして昭和57年の通水以来拡張



香取市人口：38,600人（4月現在）
 旧佐原市：47,200人 旧小見川町：25,400人
 旧山田町：10,800人 旧栗源町：5,200人

給水人口香取市：66,600人（4月現在）
 旧佐原市：29,400人 旧小見川町・山田町：33,000人
 旧栗源町：4,200人



短信・河口堰

アユの遡上調査

アユは春から秋にかけて川の中流域で生活し、秋に産卵します。ふ化した稚魚は海に下り、翌春まで沿岸付近で動物性プランクトンなどを食べて成長します。

利根川河口堰では、毎年3〜5月頃にかけて、成長したアユが、川の中流域で生活し産卵するために、利根川を遡上する姿をみる事ができます。

利根川河口堰では、左右岸に呼び水式階段魚道が設置されています。この魚道に網の設置または目視により、どのような魚が遡上しているか調査しています。

今年度は3月2日から調査を実施し、初日から数尾のアユ遡上が確認されましたが、4月14日



遡上調査の様子

の調査では681尾のアユ遡上が確認できたことから、4月中旬より、本格的な遡上が始まっていると判断しています。

利根川だけでなく、全国各地の河川でアユの遡上が確認されています。国土交通省のホームページ「アユの遡上前線」で確認することができます。

利根川河口堰からもアユの遡上データを提供し調査に協力しています。

<http://www.mlit.go.jp/river/ayu/index.html>

生物図鑑

迷惑？なカニ

クロベンケイガニは、甲羅が3〜4センチ程度で、脚に毛が生えています。

河口に近い土手などに穴を掘って生活し、水中にはあまり入らずに、水辺付近の湿った場所を移動します。

見ている分には可愛いですが、田んぼの畦などにも穴を掘って水漏れなどを起こしたりするので、少々迷惑なカニのようです。俗称「くそがに」とも呼ばれているらしいのですが、迷惑なので嫌われているからでしょうか。穴の中で越冬し、春先から見る事ができます。

利根川河口付近の草むら近くに来たときは、探し



平成18年5月19日 右岸魚道付近にて

穴の中に潜む クロベンケイガニ



てみて下さい。カサカサと音がしたら、クロベンケイガニかもしれないかもしれません。

編集後記

「心温まる、親しみやすい編集」。「今後も是非続けてください」。「楽しみにしています」。「勉強になる」。「職員の色々な努力や苦労があまり外部に発信されていない」など感想や意見が寄せられました。職員一同あまりにも嬉しく、励みになりましたので掲載させて頂きました。今後皆様にもこのように言ってもらえるよう努力してまいります。

(職員一同)

この広報誌に関するご意見・ご感想、並びに利根川河口堰へのご質問等は下記までお寄せ下さい。また、無投書も受け付けています。下記までご連絡ください。
 〒289-0411
 千葉県香取郡実直町新橋2276番地
 水資源機構 利根川下流総合管理所
 利根川河口堰管理課
 TEL 0478-86-0477
 FAX 0478-86-3467
 E-mail : tonekako@topaz.pcn.ne.jp

利根川河口堰管理所では、水の週間にちなんで行事として次の日曜で、施設を一般開放しイベントを開催します。

今年のイベントは、「水の大切さ」をテーマに、施設紹介ビデオの上映、水や電灯に関する体験コーナー、観水コーナーを設けて皆様のご来場をお待ちしております。

体験コーナーでは、

イベント案内

河口堰に集る

水の大切さを知ろう!

水の週間行事開催

日時: 7月30日(日)

9時30分～15時30分

場所: 利根川河口堰管理所



牛久沼水辺公園より

利根川下流沿川紀行



昨年のシャボン玉コーナーの様子



昨年の水質体験コーナーの様子

河口堰を動かす操作室の見学、遊覧船による河口堰の見学並びに数種類の水質検査の体験、降雨量の測いを体験していただく体験などを用意しております。

牛久沼

昔「金吾寺」に名を「知雲」という大悪意者の小僧がおろし、それは大金いで修行もせず食べては寝るの繰り返しが続き、しまいに牛になってしまった。しかしすがに我が身を恥じ



牛久沼と金竜寺・女化稲荷神社

6月7日、国土交通省利根川下流河川事務所小見川出張所、千葉県香取香取地区整備センター小見川出張所、水資源機構利根川河口堰管理所の三者において、平成18年度出水期前の黒部川防災情報について意見交換を行いました。

これは、黒部川の止



短信・河口堰

出水期に備え、連携を密に

沼に飛び込もうとしているところ、和尚が見つけ尻尾を掴まえ戻そうとしたがえられてしまった。その身体はそのまま沼に沈んでしまった。それで安んずるは、この沼を「牛を食った沼」ということで「牛久沼」と呼んだ。



金竜寺

東総広域水道企業団主催の黒部川流域の清掃作業が、6月6日に終わりました。

当日は旭市水道課、東総広域水道企業団、水資源機構の有志3名が集まり、黒部川の身防に投棄された空き缶、空きビン、ペットボトル、腐材等の分別収集を行いました。

黒部川流域の清掃作業

また、打合せ終了後、利根川河口堰管理施設の見学会を行い、施設についての理解を深めました。

文化稲荷神社

文化稲荷神社は牛久市域にありますが、鶴ヶ市駒馬町の飛地になっています。

この文化稲荷神社には多くの伝説が伝わっており、その中でも特に有名な伝説が「白狐の伝説」の伝説で、その昔ある男が法師に撃たれそうになった狐を助



清掃作業を終えて



清掃作業の様子



文化稲荷神社の院



文化稲荷神社

けたところ、狐が女に化け恩返しをしたというもので、文化稲荷神社の由来にもなっています。